

令和7年度 第1回技術部会

C3部会 8月7日(木) 全国高等学校体育連盟体操専門部

==== 審議事項=====

1. 令和7年度 高校適用規則(競技規則、採点規則)の確認
2. 令和8年度 全国高校総体(兵庫)大会実施要項について
3. 令和9年度 全国高校総体(体操競技:神奈川/新体操:千葉)大会実施要項について
4. 令和7年度 全国高校選抜(体操競技:長野/新体操:福井)大会実施要項について
5. 令和8年度 全国高校選抜(宮崎)大会実施要項について
6. その他
 - (1) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

==== 審議結果=====

1. 令和7年度 競技規則・採点規則の全国高校適用について →主要役員承認

- (1) 令和7年度以降大会の個人競技手具の確認

	全国高校総体			全国高校選抜					国民スポーツ大会				
	個人手具		開催地	個人手具				開催地	個人手具				開催地
令和7(2025)年度	Ro	Cl	山口	St	Ri	Ro	Cl	福井	St	Ri	Ro	Cl	滋賀
令和8(2026)年度	Cl	St	兵庫	St	Ri	Ro	Cl	宮崎	St	Ri	Ro	Cl	青森
令和9(2027)年度	St	Ri	千葉	St	Ri	Ro	Cl	岩手	St	Ri	Ro	Cl	宮崎
令和10(2028)年度	Ri	Ro	岐阜	St	Ri	Ro	Cl		St	Ri	Ro	Cl	長野

手具表記: St(スティック)、Ri(リング)、Ro(ロープ)、Cl(クラブ)

- (2) 高校適用規則(競技規則、採点規則)について

・特に変更なし

2. 令和8年度 全国高校総体(兵庫)大会実施要項について →主要役員承認

- ・個人競技と団体競技の両方に出場する選手の個人の演技順が午後の場合、午前に団体練習を割当て、午後に個人割当練習と競技を行うことも想定

3. 令和9年度 全国高校総体(体操競技:神奈川/新体操:千葉)大会実施要項について →主要役員承認

- ・会場: 千葉ポートアリーナ
- ・フロア: 3面を準備予定

4. 令和7年度 全国高校選抜(体操競技:長野/新体操:福井)大会実施要項について →主要役員承認

- ・フロア: メインアリーナに2面
- ・フロアは別会場から運搬する予定
- ・個人競技日の競技後の団体割当練習は個人競技出場の有無により順番を入れ替える可能性あり。
- ・練習会場にフリーアップスペースを確保
- ・1泊朝食のホテルが多いとのことだったので、グルメカード等も活用して1泊2食の形で対応してもらいたい。(出場校の遠征費支出基準等に配慮)

5. 令和8年度 全国高校選抜(宮崎)大会実施要項について →主要役員承認

- ・フロア: 2面+アップバーン2列(タンブリングボードは確認)

6. その他

(1) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

ア 全国総体における男子個人の特別抽選について →原案を R7 第 2 回委員総会で審議

令和 7 年度より、1 班（3 名）・2 班（3 名）を併せた 6 名によるローテーションの演技順とする
ことに伴い、これまで 1 班～3 班までを対象としていた特別抽選を、1 班・2 班までに変更したい。

イ 団体補充枠配当の優先順の決定要領の変更について →原案を R7 第 2 回委員総会で審議

令和 8 年度は、現状の補充枠の選定を行い、令和 9 年度より運用予定。

②の選考方法で同率になった場合、①の選考方法を適用する。

【① 専門部案】

前年度の加盟実施校数調査をもとに、実施校のある都道府県数を分母とし、ブロックに所属する各都府県の学校総数を割って、各都府県の実施校平均値を算出する。この平均値をもとに、全国委員長が補充枠の優先順位案を作成する。

【② 技術部案】

各ブロックの出場枠を分母とし、団体競技に出場する都道府県数（※ブロック大会により出場チーム数が異なる）を割って、各ブロックの平均値を算出する。同率となった場合は、専門部案による優先順位を採用する。

【令和 8 年度補充枠を変更案で算出した場合】

ブロック	② 出場枠	②団体出場 都道府県数	② 平均値	② 優先順
北海道	1	1	1.00	なし
東北	3	4	1.34	4
関東	4	6	1.50	3
北信越	3	2	0.67	なし
東海	2	4	2.00	1
近畿	2	4	2.00	1
中国	2	2	1.00	6
四国	2	2	1.00	6
九州	4	5	1.25	5
開催地	1			

同率の場合 →

①実施 都道府県数	① 学校数	① 平均値	① 優先順
1	3	3.00	なし
7	10	1.43	5
6	7	1.17	7
4	7	1.75	3
4	7	1.75	3
4	12	4.00	1
2	5	2.50	2
2	2	1.00	8
5	6	1.20	6

※データ元：令和 7 年度全国高体連体操専門部加盟実施校数・部員数一覧表

ウ その他、要望事項等

※ 大会日程について →開催地で対応検討

- ・朝食をとれないままに練習になってしまう。
- ・技術部員が監督をしている学校の練習時間の調整。

※ 協力者の範囲の見直しについて →R7 第 2 回委員総会で返答

- ・解釈の方法として音楽係や撮影者に加えコーチも可としてほしい。

※ 競技時程の考え方について →R7 第 2 回委員総会までに技術部より専門部へ提案

- ・技術部で前年度に提案（例：サブ練習後 10 分でコール、5 分後入場など）

エ 男子新体操委員会より（安福先生）

- ・審判編成等の課題
- ・申告書の活用（指導者・審判の勘違いを未然に防ぐ）
しばらくは継続していくことを推奨
- ・変更等はヘルプデスクに掲載予定
- ・審判の育成のために高校生の審判免許取得を推奨
- ・今年度 1 種審判認定試験実施